

第51回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月11日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第51回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

- ・東日本大震災で犠牲になりました多くの方々に対し哀悼の意を表し、1分間の黙祷を捧げます。

- ・黙祷。

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・東日本大震災発生から1ヶ月、災害対策本部も一生懸命頑張ってきた。県民国民の頑張りに心から敬意を表したい。これからも復興に向けて頑張っていきたい。

○国土交通大臣市村政務官

- ・尽力に敬意を表する。これからも引き続き宮城県・各市町村と協力して復興に励んでいきたい。

○小野寺危機管理監

- ・4月7日の余震の被害状況は、本日までとし、明日からは東日本大震災と一緒に報告する。
- ・4月7日の余震の被害状況は、仙台市で死者1名増加の合計2名である。
- ・都市ガスの復旧見通しについては、再開復旧率67.5%である。

○今野総務部長

- ・特段なし。

○伊藤企画部長

- ・4月7日の余震による被害について、JR関係の運転再開したものについては東北本線、福島ー仙台間で4月12日運転再開する。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力発電所事故に係るモニタリング結果は、ほぼ横ばいである。

○岡部保健福祉部長

- ・介護支援関係について、東京都、石川県から介護職員を追加する。
- ・活動ボランティア総勢1,811人と増え、余震前の活動状況に戻りつつある。

○河端経済商工観光部長

- ・特段なし。

○千葉農林水産部長

- ・東日本大震災で破損した冷凍冷蔵庫の保管物の第一回海洋投入について、気仙沼は本日海洋投入を開始し、石巻は本日マスコミに公開する。

○橋本土木部長

- ・相馬亘理線：仮道での通行が可能である。

○自衛隊

- ・遺体74体を収容した。

- ・東北3県を集中捜索した結果、全体で99体収容した。

○竹内警察本部長

- ・10日の収容数87体である。
- ・遺体を東京都にて一部、火葬の実施をする。

○消防庁

- ・緊急消防援助隊の本日の活動状況は、主に沿岸部を中心に459名で捜索活動、救急活動等を実施する。

○海上保安庁

- ・集中捜索実施状況については別紙、写真参照のとおりである。
- ・昨日、亶理町にて陸上自衛隊と連携して潜水捜索を実施。本日の活動状況は沿岸部を中心に潜水捜索を実施する。

○東北電力(株)

- ・余震分の停電は10日未明に解消した。
- ・引続き送電作業を実施する。

○東北経済産業局

- ・ガソリンスタンドに調査した結果、14店舗については、余震の影響は解消された。
- ・入荷状況についての問題はない。

○小林教育長

- ・余震の人的被害についてはなし。
- ・当面校舎を使用できない学校について、44校から43校に減少した。

- ・フリーダイヤル受信件数について、昨日は、小・中学校160校、高校213校である。
- ・本日、通学路の確保についてJRに要望する。

○伊藤企業局長

- ・4月7日の余震について、工業用水道事務所関係34ヶ所で漏水した。
- ・工業用水道の復旧状況について別紙参照されたい。

○村井災害対策本部長

- ・東日本大震災が発生してから1ヶ月、皆様のご協力に感謝する。県一斉の黙祷を検討していたが、自衛隊、警察、行政機関等の各作業に支障が出る。今は、行方不明者の捜索や仮設住宅の建設が最優先と判断し、黙祷の行事は止めることにした。

なお、明日以降は、4月7日の余震についても東日本大震災と併せて報告していただくことにする。

次回は4月12日10時00分に開催する。